

山武水道では災害に備えどのような事をしているの？ 水道管路を計画的に更新しております

山武水道では自然災害等による被害を最小限にとどめ、被災した場合も迅速な対応を行い確実な給水を行うことが出来るよう努めております。

◇重要給水施設配水管耐震化

災害時に対策本部となる行政機関や主要病院等の重要給水施設への配水管を優先的に耐震化を進めております。

本計画は、平成27～41年度までに26.7kmを更新することとしており、平成29年度末で4.6kmが耐震化完了となります。

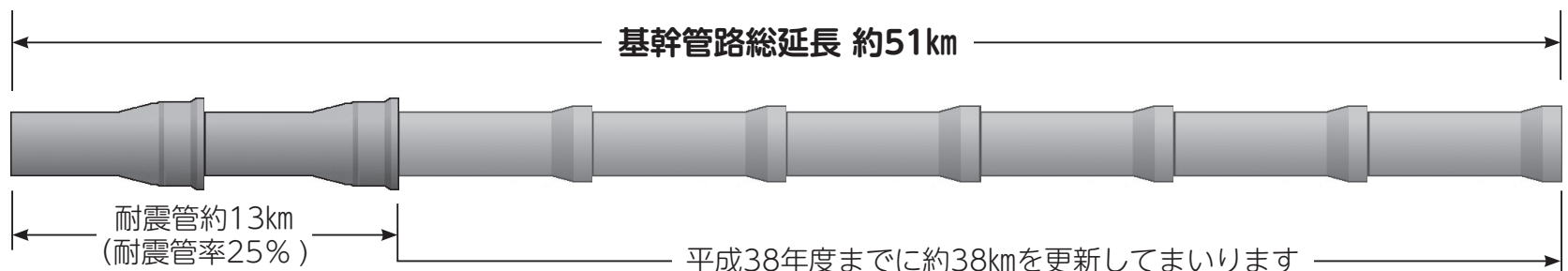
◇基幹管路耐震化

口径350mm以上の配水管約51kmのうち41.9kmについて、今後想定される大規模地震等の被害を最小限に抑えるため平成28～38年度までに耐震管に更新してまいります。

平成28～29年度末で実施した約3.7kmと既に更新された管とあわせると約13kmが耐震化されました。



耐震性に優れた水道管（ダクタイル鋳鉄管）
「一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会」提供



引用：水道PRパッケージ

災害に備えて他団体と連携を図っております

山武水道では、平成30年1月29日から31日の3日間に渡り、千葉市花見川区の柏井浄水場で開催されました「日本水道協会関東地方支部（南関東ブロック）合同防災訓練」に千葉県支部の一員として参加しました。

本訓練では、千葉市内に直下地震が起きた被害想定で実施され、応援要請訓練、応援隊進行訓練、受入訓練、応援活動審議訓練、応急給水場所進行訓練等が実施され山武水道も他団体との連携強化に努めてきました。



飲料水の備蓄をお願いします

山武水道では、ライフラインである水道が断水しないよう全力で施設の維持管理に努めておりますが、大規模な災害で配水管の破損などが起こった場合、完全復旧には時間がかかることが考えられます。人が1日に必要とする水分は約3リットルといわれておりますので、災害に備えて3日分の飲料水を備蓄するようお願いしています。

ご家庭で備蓄する1人分の水量

1人1日3リットル×3日分=9リットル

山武水道の水はどこからくるの？

蛇口をひねればいつでも出てくる水道水。皆さんの家庭に安定して水道水を送るためには多くの人々の協力を得ております。水道水はどのようにして皆さんの家庭まで届いているのかをご紹介します。

- ①利根川から引き込まれた水は香取市の**両総用水第一揚水機場**①でくみ上げられ**栗山川**②に送られます。
- ②栗山川を下った水の一部は、九十九里地域水道企業団の光浄水場へ導水されます。光浄水場で浄水された水は山武水道の**松尾配水場**③へ送られ、松尾配水場から山武市(松尾地区・蓮沼地区)と横芝光町(横芝地区)へ配水しています。
- ③同じく、栗山川を下った水は、**横芝揚水機場**④でくみ上げられ房総導水路を通じて九十九里地域水道企業団の東金浄水場へ導水されます。東金浄水場で浄水された水は山武水道の**大網配水場・東金配水場・成東配水場**⑤へ送られ、3つの配水場から大網白里市、東金市、九十九里町、山武市(成東地区)へ配水しています。

